Ｊｕｄｙ’s簿記講座　**チェック　０００**

（問　　題）

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

得点	

問　題（20点）

次の１～５の文中の〔　〕の部分に、あてはまる適切な語句を、文章の後の（　）の中から選んで、解答欄に記入しなさい。

１　交通信号において、赤は〔ア〕、青は〔イ〕です。　（　進め　，　止まれ　）

２　歩道等と車道の区別のない道路において、歩行者は道路の〔ア〕側端に寄って通行しなければならず、車両は道路の中央から〔イ〕の部分を通行しなければなりません。
（　左　，　右　）

３　銭湯などの大浴場では、女性は〔ア〕に、男性は〔イ〕に入ります。
（　女湯　，　男湯　）

４　ある部屋には、Ａ，Ｂ２つのドアがついています。部屋に入る時とは違うドアから出るルールがあります。Ａのドアから入った人は〔ア〕のドアから、Ｂのドアから入った人は〔イ〕のドアから、出てきます。　（　Ａ　，　Ｂ　）

５　〔ア〕仕入れたものを〔イ〕売って、利益を出すのが商売の秘訣です。
（　高く　，　安く　）

	〔ア〕	〔イ〕
1		
2		
3		
4		
5		

Ｊｕｄｙ’s簿記講座　**チェック　０００**

（解　　答）

各問ごと完全解答のみ４点

問　題（20点）

次の１～５の文中の〔　〕の部分に、あてはまる適切な語句を、文章の後の（　）の中から選んで、解答欄に記入しなさい。

１　交通信号において、赤は〔ア〕、青は〔イ〕です。　（　進め　，　止まれ　）

２　歩道等と車道の区別のない道路において、歩行者は道路の〔ア〕側端に寄って通行しなければならず、車両は道路の中央から〔イ〕の部分を通行しなければなりません。
（　左　，　右　）

３　銭湯などの大浴場では、女性は〔ア〕に、男性は〔イ〕に入ります。
（　女湯，　男湯　）

４　ある部屋には、Ａ，Ｂ２つのドアがついています。部屋に入る時とは違うドアから出るルールがあります。Ａのドアから入った人は〔ア〕のドアから、Ｂのドアから入った人は〔イ〕のドアから、出てきます。　（　Ａ　，　Ｂ　）

５　〔ア〕仕入れたものを〔イ〕売って、利益を出すのが商売の秘訣です。
（　高く　，　安く　）

	〔ア〕	〔イ〕
1	止まれ	進め
2	右	左
3	女湯	男湯
4	Ｂ	Ａ
5	安く	高く

Ｊｕｄｙ’s簿記講座　**チェック　０１１**

（問　　題）

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

得点	

問　題（各２点×10＝20点）

次の空欄に該当する用語を記入しなさい。

１．簿記とは、企業の活動を一定のルールに従って〔ア〕に記入し、記録・計算・整理する技術である。

２．簿記の目的は､日々の取引を正確に記録し、〔イ〕や〔ウ〕などの決算書（財務諸表）を作成することである。

３．簿記では、継続する事業活動を、一定の期間、会計期間に区切る。会計期間は、通常１年間であり、その始まりを〔エ〕、終わりを〔オ〕、その間を〔カ〕という。

４．財務諸表には、一定期間の〔キ〕を明らかにする損益計算書と、一定期日の〔ク〕を明らかにする貸借対照表がある。

５．簿記では、取引を二面から理解し、帳簿の左右の側に記述する。この左側を〔ケ〕、右側を〔コ〕と呼ぶ。

ア	イ	ウ	エ	オ

カ	キ	ク	ケ	コ

Ｊｕｄｙ’s簿記講座　チェック　０１１

（解答解説）

問　題（各２点×10＝20点）

次の空欄に該当する用語を記入しなさい。

１．簿記とは、企業の活動を一定のルールに従って〔ア〕に記入し、記録・計算・整理する技術である。

２．簿記の目的は､日々の取引を正確に記録し､〔イ〕や〔ウ〕などの決算書（財務諸表）を作成することである。

３．簿記では、継続する事業活動を、一定の期間、会計期間に区切る。会計期間は、通常１年間であり、その始まりを〔エ〕、終わりを〔オ〕、その間を〔カ〕という。

４．財務諸表には、一定期間の〔キ〕を明らかにする損益計算書と、一定期日の〔ク〕を明らかにする貸借対照表がある。

５．簿記では、取引を二面から理解し、帳簿の左右の側に記述する。この左側を〔ケ〕、右側を〔コ〕と呼ぶ。

ア	イ	ウ	エ	オ
帳　　簿	損益計算書	貸借対照表	期　　首	期　　末

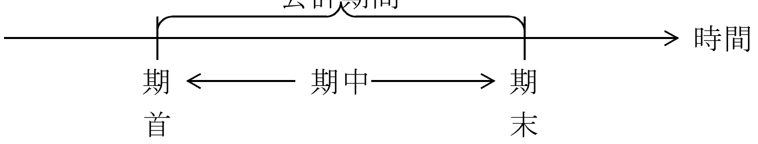
（イ・ウ）順不同

カ	キ	ク	ケ	コ
期　　中	経営成績	財政状態	借　　方	貸　　方

１．ア　　　　５．の文章がヒント

２．イ，ウ　　４．の文章がヒント

３．



４．損益計算書：一定期間（自xx年４月１日至xy年３月31日など）の経営成績

　　貸借対照表：一定期日（xy年３月31日など）　　　　　　　　　の財政状態

５．

Ｊｕｄｙ’s簿記講座　**チェック　０１２**

（問　　題）

得点	

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問　題（各２点×10＝20点）

次の空欄に該当する用語を下記から選んで、記入しなさい。

〔＿＿＿＿＿＿＿＿〕
xy年３月31日

〔　　　　〕	〔　　　　〕
	〔　　　　〕

一定期日の〔　　　　　　　　〕を明らかにする決算書（財務諸表）

〔＿＿＿＿＿＿＿＿〕
自xx年４月１日至xy年３月31日

〔　　　　〕	〔　　　　〕
〔　　　　〕	

一定期間の〔　　　　　　　　〕を明らかにする決算書（財務諸表）

資　　産　　負　　債　　資　　本　　収　　益　　費　　用

損益計算書　　当期純利益　　貸借対照表　　財政状態　　経営成績

Ｊｕｄｙ’s簿記講座　**チェック　０１２**

（解答解説）

問　題（各２点×10＝20点）

次の空欄に該当する用語を下記から選んで、記入しなさい。

〔　貸借対照表　〕
xy年３月31日

〔　資　　産　〕

〔　負　　債　〕

〔　資　　本　〕
※純資産も可

一定期日の〔　財政状態　〕を明らかにする決算書（財務諸表）

〔　損益計算書　〕
自xx年４月１日至xy年３月31日

〔　費　　用　〕

〔　当期純利益　〕

〔　収　　益　〕

一定期間の〔　経営成績　〕を明らかにする決算書（財務諸表）

資　　産	負　　債	資　　本	収　　益	費　　用
損益計算書	当期純利益	貸借対照表	財政状態	経営成績

Ｊｕｄｙ’s簿記講座　チェック　０１３

（問　　題）

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

得点	

問　題（各１点×20＝20点）

次に示す勘定科目を、資産、負債、資本、収益、費用に分け、それぞれ該当する解答欄に記入しなさい。

現　　金	売 掛 金	売　　上	貸 付 金	商　　品
買 掛 金	仕　　入	受取手数料	支払手数料	給　　料
借 入 金	備　　品	水道光熱費	広告宣伝費	支払利息
資 本 金	受取利息	雑　　費	建　　物	繰越利益剰余金

資産	

負債	

資本	

費用	

収益	

Ｊｕｄｙ’s簿記講座　チェック　０１３

（解　　答）

問　題（各１点×20＝20点）

次に示す勘定科目を、資産、負債、資本、収益、費用に分け、それぞれ該当する解答欄に記入しなさい。

現　　金	売　掛　金	売　　上	貸　付　金	商　　品
買　掛　金	仕　　入	受取手数料	支払手数料	給　　料
借　入　金	備　　品	水道光熱費	広告宣伝費	支払利息
資　本　金	受取利息	雑　　費	建　　物	繰越利益剰余金

資産	
	現　　金 売　掛　金 貸　付　金 商　　品 備　　品 建　　物

負債	
	買　掛　金 借　入　金

資本	
	資　本　金 繰越利益剰余金

費用	
	仕　　入 支払手数料 給　　料 水道光熱費 広告宣伝費 支払利息 雑　　費

収益	
	売　　上 受取手数料 受取利息

Ｊｕｄｙ’s簿記講座　**チェック　０１８**

（問　　題）

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

得点	

問　題（20点）

稲野商店の期末の資料に基づいて、損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。なお、稲野商店の期首の資本金は￥300,000、繰越利益剰余金は￥0である。

現　　金	￥200,000	売　掛　金	￥190,000	売　上　高	￥1,200,000
買　掛　金	￥120,000	商　　品	￥130,000	売上原価	￥　800,000
借　入　金	￥480,000	給　　料	￥480,000	水道光熱費	￥160,000
受取手数料	￥400,000	雑　　費	￥120,000	建　　物	￥420,000
資　本　金	￥300,000	繰越利益剰余金	￥　？		

（　　　　　　　　）

稲野商店　　自×１年１月１日　至×１年12月31日　　（単位：円）

（　　　　）の部	金　　額	（　　　　）の部	金　　額
売上原価			

（　　　　　　　　）

稲野商店　　×１年12月31日　　（単位：円）

（　　　　）の部	金　　額	（　　　　）の部	金　　額
		資　本　金	
		繰越利益剰余金	

Ｊｕｄｙ’s簿記講座　**チェック　０１８**

（解　　答）

□ １つにつき１点

問　題（20点）

稲野商店の期末の資料に基づいて、損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。なお、稲野商店の期首の資本金は￥300,000、繰越利益剰余金は￥0である。

現　　　金	￥200,000	売　掛　金	￥190,000	売　上　高	￥1,200,000
買　掛　金	￥120,000	商　　　品	￥130,000	売上原価	￥　800,000
借　入　金	￥480,000	給　　　料	￥480,000	水道光熱費	￥160,000
受取手数料	￥400,000	雑　　　費	￥120,000	建　　　物	￥420,000
資　本　金	￥300,000	繰越利益剰余金	￥　？		

（損　益　計　算　書）

稲野商店　　自×１年１月１日　至×１年12月31日　　（単位：円）

（費　用）の部	金　　額	（収　益）の部	金　　額
売上原価	800,000	売　上　高	1,200,000
給　　料	480,000	受取手数料	400,000
水道光熱費	160,000		
雑　　費	120,000		
当期純利益	***40,000***		
	1,600,000		1,600,000

（貸　借　対　照　表）

稲野商店　　×１年12月31日　　（単位：円）

（資　産）の部	金　　額	（負債・資本）の部	金　　額
現　　金	200,000	買　掛　金	120,000
売　掛　金	190,000	借　入　金	480,000
商　　品	130,000	資　本　金	300,000
建　　物	420,000	繰越利益剰余金	40,000
	940,000		940,000

Ｊｕｄｙ’s簿記講座　**チェック　０１９**

（問　　題）

得点	

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問　題（20点）

稲野商店の期末の資料に基づいて、損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。なお、稲野商店の期首の繰越利益剰余金は￥ 40,000である。

現　　金	￥224,000	売 掛 金	￥ 98,000	売 上 高	￥2,304,000
買 掛 金	￥240,000	商　　品	￥195,000	売上原価	￥1,536,000
借 入 金	￥480,000	給　　料	￥480,000	水道光熱費	￥193,000
受取手数料	￥400,000	雑　　費	￥128,000	建　　物	￥910,000
資 本 金	￥300,000	繰越利益剰余金	￥　　？		

（　　　　　　　）

稲野商店　　自×２年１月１日　至×２年12月31日　　（単位：円）

（　　　）の部	金　　額	（　　　）の部	金　　額
売上原価	1,536,000		

（　　　　　　　）

稲野商店　　×２年12月31日　　（単位：円）

（　　　）の部	金　　額	（　　　）の部	金　　額

Judy's簿記講座　**チェック　０１９**

（解　　答）

□ １つにつき１点

問　題（20点）

稲野商店の期末の資料に基づいて、損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。
なお、稲野商店の期首の繰越利益剰余金は￥ 40,000である。

現　　金	￥224,000	売　掛　金	￥ 98,000	売　上　高	￥2,304,000
買　掛　金	￥240,000	商　　品	￥195,000	売上原価	￥1,536,000
借　入　金	￥480,000	給　　料	￥480,000	水道光熱費	￥193,000
受取手数料	￥400,000	雑　　費	￥128,000	建　　物	￥910,000
資　本　金	￥300,000	繰越利益剰余金	￥　？		

（損益計算書）

稲野商店　　自×２年１月１日　至×２年12月31日　　（単位：円）

（費用）の部	金　額	（収益）の部	金　額
売上原価	1,536,000	売　上　高	2,304,000
給　　料	480,000	受取手数料	400,000
水道光熱費	193,000		
雑　　費	128,000		
当期純利益	***367,000***		
	2,704,000		2,704,000

（貸借対照表）

稲野商店　　×２年12月31日　　（単位：円）

（資産）の部	金　額	（負債・資本）の部	金　額
現　　金	224,000	買　掛　金	240,000
売　掛　金	98,000	借　入　金	480,000
商　　品	195,000	資　本　金	300,000
建　　物	910,000	繰越利益剰余金	407,000
	1,427,000		1,427,000